

【学校教育目標】「感謝の心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



# 学校だより 堂崎つ子

第 15 号

令和 6 年 10 月 28 日

南島原市立堂崎小学校

校長 末吉 優

## 5年生宿泊学習 大自然の中で、のびのび・生き生き過ごす

「きつかったけど、楽しかったです。」という感想の根底には、充実した体験活動であったことを物語っています。終わりの挨拶の中で、引率した永田教頭先生が、「大自然の中で体験することは、意外とおもしろい。子供はいろんなことを考えることができる、遊びの天才である。」と話されていました。

友達と対話・協力し、薪割り・火起こしをし、ドキドキしながらの野外炊飯（飯ごう炊さん・カレー作り）など、体験した本人にしか分からない感動・達成感を得たのではないかと思います。

楽しみにしながら、いつもとは異なり普段使わない体の隅々までを使い、テレビやゲーム等がなくても友達と協力し、アイデアを出し合い、自分たちの可能性の大きさを実感したことでしょう。これからは、この宿泊学習で体験したこと、考えたことを今後の生活に、活かすことが大切だと考えます。

< 引率した教師の感想から >

活動班や生活班での担当においては任された係を具体的な姿（配膳や米を研ぐ仕事、ご飯炊き）として、沢遊びやアスレチック、追跡ハイキングなどにおいて、困ったときに質問や相談をして、進んで交流しようとする姿勢が見られた。

大人が手や口をはじめから出すのではなく、苦勞をさせ、知恵を捻出するような機会を与えること、世の中の厳しさを体感させ、判断力を育て、より安全な行動へ実行させること、そういった中で、子供たちと大人、子供たち同士の対話・コミュニケーションが重要となるのではないのでしょうか。



体験活動をとおして培うことのできる様々な力「生きる力」を子供たちは見事に発揮し、私たち教師、そして何よりも家族の皆さんが発見できたのではないのでしょうか。子供たちの内に秘めた力を確実に育てていきましょう。



## 島原特別支援学校児童 居住地学校交流を行いました 10月18日（金）

10月18日（金）には、特別支援学校から2名（1年生と3年生）のお友達が、堂崎小学校へ交流学習に来ました。3年生児童は、6月以来、約4ヶ月ぶりに2回目の交流でした。また、1年生は、今回初めての交流学習で、少々緊張するのではないかと心配していました。

3年生は、ミラーストレッチ、じゃんけん列車などを楽しみ、1年生は、曲に合わせて太鼓やタンブリングを使ってリズム打ちをしました。また、1年生児童が描いた果物の絵と名前が描かれたカードを首にかけ、フルーツバスケットを楽しみました。自分か何の果物かが分かるような工夫をされていました。



給食時間になると、いつもより張り切って素早く準備に取りかかり、それぞれの学級で楽しく給食をいただきました。和食中心のメニューで、お代わりをする児童も多かったと聞いています。

帰るときには、玄関まで1年生・3年生児童が見送りに来て、別れを惜しんでいました。また、来年6月くらいになるのでしょうか、再会を確かめていました。



## 10月23日（水）全校朝会：1年生からの発表

「校長先生、今日は8時15分から体育館で1年生からの発表ですよ。」と職員の一部から声をかけられました。考え事をしていた私は、ハツとして、軽い足取りで体育館へ向かいました。

響き渡る明るい声と歌声、そろった鍵盤ハーモニカの演奏、担任の永田先生のピアノ伴奏が、私たちの気持ちを明るくします。

発表の最後は、いつも歌っている「なかまはたから」でした。そして、「これからもすてきなお兄さん、お姉さんを大切にしていきます。」と締めくくりました。私は、発表する1年生の姿と同じく、その発表を見聞きしている2～6年生の表情を見ていました。自分の妹が発表する様子を見て、何かしら隣の児童に話しかける様子、真剣に聞き入る様子など様々でした。

発表を見て聞いていた子供たちからは、「みんなの前で緊張しないで発表して、すごい!」、「鍵盤ハーモニカの演奏や歌が元気に歌えていてすごい!」と感想を述べていました。

発表を終えた1年生からの声も聞いてみました。「みんなに発表を聞いてもらってうれしかった。」「本当は緊張した。」「みんなで力を合わせてできたのでよかった。」などの感想がありました。入学して7ヶ月、1年生の成長を感じた次第です。



## 読書集会 10月24日（木） お話の会「チューリップ」の皆様にはお世話になりました。

堂崎小学校では、10月24日（木）～11月29日（金）まで「秋の読書週間」と併せて、読書への関心をもってもらうと様々な試みを行っています。

早速、24日は、図書委員会のメンバーが中心となり読書集会を行いました。

- ①図書クイズ、おすすめの本の紹介
- ②学年到達目標の6割以上を読んだ児童の「多読賞表彰」
- ③お話の会「チューリップ」の皆さんからの読み聞かせ等 がその内容でした。

チューリップからは、4名（松島様・田浦様・矢島様・松永様）が、ご自分の仕事の調整をして来校いただきました。手あそび等で子供たちの関心を引き寄せ、絵本等の読み語りをされました。



<p>&lt;手あそび…棒が一本&gt;</p> 	<p>&lt;エプロンシアター「こぶとりじいさん」&gt;</p> 	<p>&lt;大型絵本の読み聞かせ「ともだちや」&gt;</p> 	<p>&lt;パネルシアター「まほうのレンジ」&gt;</p> 
--	---	---	---

これからも更に、読書に親しみ、多くの知識や人として成長するための「心の栄養」を吸収してほしいと思います。

## 「長崎っ子が輝く学校応援プロジェクト」に係るテレビ放映について NCC長崎文化放送

<番組名 「せんせい、いつもです!」 > 【県内学校の先生方の魅力発信等】

- 第3回 11月 1日（金）21:49～21:54 （長崎県立長崎西高等学校）
- 第4回 11月15日（金）20:55～21:00 （長崎県立諫早特別支援学校）
- 第5回 12月 6日（金）20:55～21:00
- 第6回 12月20日（金）20:55～21:00

放送日の翌週土曜日から NCC 公式YouTubeチャンネルにて見逃し配信されます。